

NEWS RELEASE

No. 14-19

2014年12月19日

(公財)損害保険事業総合研究所

<出版のご案内>

保険 ERM 経営の理論と実践

損保総研編、ERM 経営研究会 著

(A4版・247頁 定価 2,400円(税別))

損保総研では、12月22日に、金融財政事情研究会から 題記の書物を出版いたします。

ERM 経営の概念、必要性についての保険会社の理解は進んできたものの、その具体的な効果・メリットが見えにくいため、現状では ERM 経営が主体的・能動的に実践・実行されていないのではないかと、との問題意識から 損保総研では、昨年春、実務家と保険研究者の合同研究会（「ERM 経営研究会」 座長：家森信善 神戸大学教授）を立ち上げました。

この研究会の1年以上にわたる研究成果が本書です。

本書では、

- 国際的保険監督・規制と金融庁の ERM ヒアリング
- 欧州保険会社の先端的経営モデル
- わが国3メガ損保グループの取組状況
- ERM の理論的背景とコーポレートファイナンスにおける位置づけ



——を解説しながら、「日本の保険会社」が目指すべき ERM 経営の方向性を探る内容となっております。

従来の ERM に関する書物は、規制、監督についての技術的解説を中心とした専門家向けのものでした。本書は ERM 経営の具体的メリットとその定着・高度化の方向性を説明しており、ERM 経営に関心をもつ多くの保険・金融関係者にも読みやすい本となっております。

保険会社の経営陣から管理職、若手社員に加えて、代理店、投資家、保険契約者を含む保険会社の全ステークホルダーが ERM 経営に対する理解（ERM カルチャー）を共有していくときに、最初に読むべき一冊、といえましょう。

主要目次

第1章 新しい時代の保険会社経営を目指して

1 ERM「経営」とは／2 日本の損害保険会社の置かれている状況／3 ERM経営を目指すべき理由／4 ERM経営研究への産学連携の取組み

第2章 近年のわが国保険会社ERMをめぐる動向

1 ERMの概要／2 近年の保険会社の取組み／3 保険行政や格付会社などの動向

第3章 わが国主要損保グループのERM取組状況

第1節 損保ジャパン日本興亜グループ

第2節 東京海上グループ

第3節 MS&ADインシュアランスグループ

(内容)

1 グループの概要／2 グループにおけるERM態勢の概要／3 ERMのガバナンス／
4 資本十分性の評価とモニタリング／5 資本の有効活用・収益性の向上／
6 自然災害リスクへの対応／7 内部モデルの活用と検証／8 ERM経営の課題

第4章 日本の保険会社のERM経営の方向性

1 ERM経営のフレームワークの概要／2 ERM経営のガバナンス／3 ERMの経営への活用Ⅰ—資本の有効活用・収益性の向上／4 ERMの経営への活用Ⅱ—破綻防止・リスク管理／
5 ERMカルチャー／6 ERM経営の基盤整備／7 おわりに

第5章 リスク計測方法の概観

1 本章の目的とその背景／2 リスクとリスクファクター／3 リスクファクターの変動幅を所与とするリスク計測方法／4 確率論および数理統計学を基礎とするリスク計測／
5 推測とリスク計測／6 まとめ

第6章 保険会社のERMに関する学術研究

1 コーポレートファイナンス論におけるERM研究／2 企業のリスクマネジメント／
3 ERMに関する最近の研究／4 残された課題と今後の方向性／

補論 企業のリスクマネジメントの理論

ERM関連用語集

本書は全国書店にて販売されます。また、AMAZONなどの通販サイトでも購入可能です。

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

ERM経営研究会事務局 松下 泰 (TEL: 03-3255-5511)